

文化祭講評について

準備・本番・片づけと5日半の府中工祭、お疲れ様でした。今年は天候にも恵まれ、2日間で1288名の大勢のお客様も見え、工業高校の文化を十分に見せることができたことを嬉しく思います。生徒会役員や実行委員を初めとして、様々なところに、本校生徒の生き生きとした姿が見られて、生徒の行事を企画・準備・運営する力が毎年上がってきていることを感じることができました。

夜間の風によりテントが壊れる等のアクシデントもありましたが、皆が協力している姿も頼もしくおもいました。残念ながら見る事が出来なかったところもあり、全部を見たわけではないので、個々の様子や企画を講評することは難しいですが、一つだけ感想を述べますと、クラスなどの企画の中で今年度のテーマで「あるものづくりの祭典」を活かした企画は、まさに本校の文化祭にふさわしく、来たお客様に、やさしく対応している生徒の表情も生き生きと美しく、本当に工業高校の文化を代表するものになったと思います。大勢のお客が、ものづくりに詰めかけるようになったのも、長い間の本校生徒や関係科の努力の成果だと思います。

文化は、一日にしてならずです。特色ある企画が様々な生まれて、多彩な府中工業高校の文化が花開くことを期待しています。

瀧澤 勝